

仙腸関節障害に対するブロック効果に関する研究

1. 研究の対象

2019年4月1日から2024年3月31日までに腰臀部痛があり、仙腸関節ブロックを外来で受けられた方

2. 研究目的・方法

仙腸関節障害は腰臀部痛の15%を占めると考えられていますが、疾患の詳細は不明な点が多いです。仙腸関節の損傷などがなくても、仙腸関節の痛みは生じ得ることから、他疾患と合併することもしばしば認められます。診断にはブロック効果の有無がゴールドスタンダードとなっていますが、直後にブロック効果を認めても症状がまた生じて、実際は異なる疾患が原因にあります。そこで本研究では、仙腸関節ブロックの直後の効果と1週間後の効果を比較することで、1週間後の効果が診断に有用かどうか評価することです。研究成果により、仙腸関節障害の診断精度が向上し、また腰痛の原因診断が早期に得られることで腰痛の慢性化を防止することにつながります。

研究に使用する情報は過去のカルテ情報から取得します。過去の情報のみを使用しますので、これから対象者の方にお問い合わせすることはありません。

研究実施期間：研究実施許可日～2025年9月30日

情報の利用開始予定日：研究実施許可日

仙腸関節障害を疑って仙腸関節ブロックを施行した際のブロック効果を、直後と1週間後で痛みを数値化（最大10点、最小0点）して評価、比較します。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：ブロック効果、年齢、性別、併存症、最終診断、有害事象 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：秋田大学大学院医学系研究科 整形外科学講座

〒010-8543 秋田市本道1-1-1

氏名：木村竜太（研究責任者）

連絡先電話番号：018-884-6148（平日9時～16時）

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則